



2.3 集会の成功をみんなの確信に！

第5回実行委員会が開催される

集団的自衛権行使容認の閣議決定撤回をめざす運動をさらに強く大きくしよう！

2月16日に、集団的自衛権を行使容認した閣議決定の撤回を求めるオール埼玉総行動実行委員会（以下「実行委員会」）の第5回実行委員会が行われました。

実行委員会では、2月3日の埼玉大集会が1500人を超える参加者で大きく成功したことを確認しました。また、5月31日に文字通り10000人を結集する大集会を開催することを確認し、県内の地域から、団体の中から運動を広げていくこと、県内の多くの人たちのつながりをつくり広げることに旺盛にとりくむことを確認しました。

2・3埼玉大集会は、集団的自衛権行使容認の閣議決定撤回の一点での共同づくりとして、5月31日の10000人集会開催に向けた跳躍台となる集会として位置づけとりくみがすすめられました。総選挙とその後の情勢、人質事件

をめぐって日本の対応への危惧が叫ばれている情勢、集団的自衛権行使をすすめる安全保障諸法制度の整備が加速している動きなどの情勢のなかで、時機にかなった集会としてうけとめられました。また、実行委員会団体の活動推進を提起しつつ、運動を途切れさせないで集会を迎えたことも成功に結びついたものと確信になりました。

実行委員会では、小出実行委員長から、「安倍内閣は、集団的自衛権行使容認閣議決定を具体化する安全保障法制の整備について、連休明けに諸法案を国会に提出し成立をめざすことが明らかになってきている。また、イスラム国人質事件を契機として、邦人救出に向けて自衛隊の活動を認める方向も出されてきている。自衛隊の海外派兵の恒久法づくりの動きになつてきている。憲法改悪についても来年の参議院選挙後とする日程を明らかに始めている。こうした動きに私たちは、2・3埼玉大集会を成功させる中で声を集めてきた。この間の運動の前進に確信をもって、集団的自衛権行使容認の閣議決定を許してはならないとする声と運動で、県内騒然となるような状況をつくりだして「こう」とする訴えがありました。

実行委員会では、5月31日に、北浦和公園で10000人を超える参加者の大集会・パレードを開催していくことをあらためて確認しました。

大集会の成功に向けて、県内地域からくまなく、地域実行委員会



などをつくりながら運動をすすめていくこと、実行委員会参加団体を圧倒的に増やしていくこと、団体内で参加目標を具体的に明らかにしながら各々の過去最高参加者数を上回る目標を立て、それにふさわしい手だてをすすめることを確認しました。

実行委員会では、運動への女性の参画を鮮明にする上からも、女性の実行委員長を5／6人選出し就いてもらうことを確認しました。

オール埼玉総行動 実行委員会 ニュース

No.3 2015.2.20

発行：集団的自衛権を行使容認した閣議決定の撤回を求めるオール埼玉総行動実行委員会

さいたま市浦和区高砂 2-3-10 黒澤ビル 2D
電話 048-814-1911 FAX048-814-1912

地域のとりくみから

2・3埼玉大集会の成功が、実行委員会に結集する地域、団体、個人の中で確信となって受けとめられています。次のステップに向けて、さらに共同のちゅうみを広げること、地域から運動をつくっていくことが語られました。これまでの、地域や団体のとりくみ、行動などを報告し合い交流もはかりました。地域から、それぞれの団体の中から、競争をする国づくりにつながる集団的自衛権行使容認の閣議決定の撤回を求める声をあげていくこと、県内で無数のとりくみ、活動がすすめられることが求められていることも確認しました。



草加革新懇
大野ミヨ子さん

ウイングを広げて 地域から運動を大 きくしていく

草加革新懇では2月7日に総会を行いました。その中で、沖縄か

ら県会議員を招いて、オール沖縄の力強い運動を学びました。草加地域においても、既存の組織や団体からウイングを広げて、多くの団体、市民が参加する運動をつくらなければと考えています。これまで、集団的自衛権行使容認の問題、憲法改悪や社会保障の問題などで運動をすすめてきた革新懇や9条の会など4者が相談しながら、幅広い地域の組織づくりをすすめていき、5・31集会へ結びつけていきたいと思っています。



九条の会さいたま
斉藤修治さん

9条の会がつなが り広げ、実行委員 会にこそぞって結集

さいたま市の中でも多くの9条の会が活動を続けています。オ

ル埼玉総行動実行委員会にも多くの9条の会が参加団体として加わってきています。最近さいたま市の9条の会がそれぞれ集まって懇談会を開いてきました。たいへん危険な情勢の中で、集団的自衛権行使容認の閣議決定に反対する活動をさらに広げていかななくてはならないと思っています。2月23日にも9条の会の交流会を開催します。多くの9条の会がこそぞって実行委員会に加わり、5・31大集会にみんなで結集できるようにしていきたいと思っています。



年金者組合
斎藤 健さん

年金者は黙って いない、多くの 県民に拡散を

私たち年金者組合は、戦争体験

者として、戦争を伝え戦争をする国づくりを許さない声を大きく広げる時だと思っています。くらしを守る、年金を守ることも平和な社会であってこそなんだということを打ち出していきます。集団的自衛権行使容認の閣議決定に反対する運動、5・31の1万人集会も、それぞれの機関紙やニュースでもりあげて伝えていかななくてはなりません。年金者組合として、集会へは200人以上の参加をめざして奮闘していきます。



立教大学
浅井春夫さん

戦争と福祉を考え る声届け、みんな が合流する運動を

「戦争と福祉」をテーマとして、2月27日にフォーラムを開催します。戦争になれば、福祉が壊され

る、障害者が生まれる、人権が否定されるなど、学生たちや若い人たちの問題提起によって、みんなが考え合う企画となっています。それぞれの領域、分野ごとに、戦争というものを様々なアプローチから伝えていかななくてはなりません。声が届いていない人にどう声を届けて、その人たちと合流していくのが大事です。埼玉のなかでも、「戦争と福祉」を糸口に、集団的自衛権の問題も考える裾野を広げ、掘り起こしていく活動をすすめていきます。



JR 東労組大宮地本
清水 敏さん

情勢をうけとめ、 反対の声をまとめ ていくこと

労働組合として、2・3埼玉大集会に50人を超える若い仲間が参加してきました。戦争をする国づくりがすすめられようとしている時に、組合員が共に学習していくことが大切だと思っています。労働組合として、集団的自衛権行使容認の閣議決定に反対していく活動を広げて、5・31の集会にはさらに多くの参加をかちとりたいと思います。



新婦人
高田美恵子さん

女性の思いを行動 に結びつけて

若い人たちの間で、安倍さんは怖いという声広がっています。「憲法カフェ」のとりくみなどを通じて、自民党憲法草案の学習会

をおこなったり、戦争を体験する会などで、戦争をする国づくりの動きをみんなで考え合う活動をすすめてきました。今年も女性参政権70年でもあります。女性たちの「戦争イヤ」の行動も広がっています。女性が副実行委員長などを担い、女性の行動をしっかりと結集し、運動を広げていくことが必要だと思っています。5・31の集会に向けても、女性の平和行動を強く大きくしながら、最大規模でとりくめるよう頑張っています。



憲法会議
渡辺政成さん

危険な情勢に立ち 向かい、機敏な運 動をつくろう

埼玉では、改憲勢力の日本会議に加わる地方議員、首長が極めて多くなっています。この夏の知事

選に向けても、県議会の右翼勢力が上田知事擁立のための新しい政治勢力を結集してきています。いっせいで地方選挙の中でもこれら勢力の台頭が目論まれています。極めて危険な情勢で、若者や県民をとりこむ草の根の改憲運動も強まっています。こうした緊急事態に対して、私たちの運動が機敏にすすめられることが重要になっています。と思っています。憲法会議では、新聞への意見広告のとりくみを始めました。意見広告の中で、5・31集会の宣伝をすすめます。